



茨城ワイズメンズクラブ  
2020 年度-2021 年度  
11 月報 Vo 1.159

強調月間テーマ

ワイズ理解・ファミリーファスト

# THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題.....「世界とともにワイズメン」  
アジア太平洋地域会長主題.....「100 年を越えて変革しよう」  
東日本区理事主題....「私たちは次の世代のために何が出来るか？」  
関東東部部長方針「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」  
茨城ワイズ会長主題.....「もう一度みんなで集う場所をつくろう」

## <11 月例会プログラム>

と き:2021 年 11 月 5 日(金)  
19:00~21:00(予定)  
と ころ:オンライン開催(zoom)  
司 会:熊谷 光彦  
開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦  
ワイズソング:「いざ立て心熱くし」  
(オンライン時はスキップ)  
ワイズ信条:  
(オンライン時はスキップ)  
1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう  
1、青少年のために YMCA に尽くそう  
1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう  
1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさそう  
1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう  
今月の聖句・祈祷:  
フリートーク:  
「クリスマスまでの計画等」  
ハッピーバースデー&  
おめでとう結婚記念日:  
スマイル:  
茨城 Y M C A 報告:大澤 篤人  
閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

## ★巻頭言★「茨城 YMCA に 3 年半」

茨城 YMCA 稲川 隆司

“冬支度” そんな季節になりましたねー。

寒さと飢餓に震える人々がいる一方で食品ロスを暖かい部屋で議論している人々がいる…そんな世の中の矛盾をいつも心苦しく思っています。

最近の私の毎週土曜日は、農作業の手伝いと生地(粉物ベースで色々)の勉強です。できあがった試作品のジャッジを皆さんにお願いしています。

さて私自身の振り返りで恐縮ですが、茨城 YMCA にお世話になって3年半が経過しました。主に給食・おやつ担当の調理師として幼児から年配の方々までの‘お客様’に美味しさと安全を両立できる様に努めてまいりました。これまた皆様のご意見を伺いたいところです。やればやる程、見えてくる課題に悪戦苦闘しつつ、しかし楽しみを忘れないように過ごしています。

今年 62 歳になります。農作業で土と触れ合うごとに大地の恵みと大自然の厳しさをひしひしと感じています。私が農作業をさせていただいている畑の地主さんは、高齢で跡継ぎもなく「あと何年やれるか…」と寂しさを滲ませています。私にはその畑を所有するほどの力量がありませんので手伝いにとどまっているところです。年間通じて主に露地栽培と付随する作業があります。私は気分転換のつもりで始めたのですが、今では野菜達が私の‘出勤’を待っていてくれるように思えます。今年5月、「わいわいサービス」の創刊号時に宮田総主事らに現地視察をしていただきました。私と一緒にボランティアで畑を手伝っていただける方を募集しています。宝篋山(噴火しません)を目の前に望み、自然の中で一

## ☆今月の聖句☆

人にしてもらいたいと思うことを、  
人にもしなさい。

ルカによる福音書 6 章 31 節

緒に汗を流せばストレス発散と農産物の恵みに触れ合えますよ。みなさんもいかがですか？

最後に「わいわいサービス」のご紹介です。茨城 YMCA の活動を外側から応援したい有志の集まりです（非公認、未認定なので悪しからず! ?）。

.....

※「わいわいサービス」タスキー稲川への連絡先：  
090-7424-0306 [365 日年中無休、入院中は除く]、  
LINE または niiharishuka1959@icloud.com [24H  
いつでもどうぞ]

## 【10 月例会報告】

10 月例会は、8 日金曜日の夜 19:15 開始、zoom によるリモート開催となりました。

開会に先立って 19:00 から茨城クラブメンバーのみでチャリティーゴルフやチャリティーランの準備状況についての簡単な協議を行いました。

そして定刻に今回のゲストスピーカーが到着、茨城クラブ久しぶりの卓話は、つくば市大曾根児童館（茨城 YMCA 指定管理）「なかよし館」の伊藤信彦館長に児童虐待の現状についてのおはなしをしていただきました。



伊藤さんは、1961 年 7 月愛知県生まれ、運送業などのお仕事を経験した後に牧師となり、盛岡ワイズメンズクラブに在籍していたこともあるとのこと。前職は福島県にある児童養護施設堀川愛生園の園長、縁あって今年の 4 月より茨城 YMCA でお仕事を開始されました。

おはなしの前半は、児童虐待の現状の紹介でした。以下にその要点をまとめてみました。

- ・児童虐待の報告件数：2018 年 5 万 6,000 件、2019 年 19 万 3,000 件、2020 年は 20 万件超が見込まれている
- ・養護施設収容者数：現在全国で 2 万 4,000 人の子どもたちが養護施設に収容されて

いる

- ・児童虐待の類型は主に 4 つに分類される
  1. 身体的虐待
  2. ネグレクト：養育放棄
  3. 心理的（精神的）虐待：言葉の暴力
  4. 性的虐待：表面化しにくく男児にもある（上記の複合的な事象もある）

- ・虐待としつけ：日本において児童虐待が注目されるようになったのは、防止法ができた 2000 年以後であり、それ以前は虐待は「しつけ」とされて表面化しにくいものだった。現在では虐待が判明した家庭の子は、施設に収容されることが多くなっている
- ・里親制度：整備されつつあるが、迎え入れられた家庭に落ち着ける子はあまり多くはないという現実がある

後半は、伊藤さんが施設での勤務で目の当たりにした事例を含めて、養護施設で暮らす子どもたちの声を聞かせていただきました。

- ・「悪い父親が家にいて自分が施設に入れられる（家にいられない）のはおかしいと思う」
- ・「きょうだいたちは家にいるのに自分だけ施設にいられるのはどうして？」
- ・「行事や卒業式で、施設の園長は来賓席に座らないでほしい」→「来賓紹介の時に自分に視線が集まるのでいやだ」→その後、園長は父兄の後ろの席に移動した
- ・「自分のせいでここ（養護施設）に入ることになったから仕方がない」→施設入所の多くの子は虐待されるのは自分が悪いから自分のせいだと思っている

最後に愛生園での実話の紹介がありました（ほんとうに痛ましい内容でしたので、その部分の本紙面での共有は控えさせていただきます）。その後、参加者からの質疑応答を経て、散会となりました。

10 月例会（リモート開催）出席状況  
 会員：5 名（大澤、稲本、片山、熊谷、村田）、  
 メネット：0 名、スタッフ：0 名、リーダー：0 名、ゲスト：1 名、出席総数：6 名、在籍者会員数：9 名、会員出席率：56%

（書記 村田）

【事務報告】

会計報告 (10月8日～11月4日)

前月繰越金	¥ 41,795-
卓話謝礼	▲ ¥ 5,000-
みどりのみらい募金	▲ ¥ 30,000-
ボランティアリーダー研修費補助	▲ ¥ 4,500-
送料	▲ ¥ 1,620-
事務用品 (封筒)	▲ ¥ 220-
次月へ繰越	¥ 455-

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

【チャリティーゴルフ報告】

10月13日(水)、茨城ワイズメンズクラブは、茨城 YMCA との共催にて、第 11 回チャリティーゴルフを開催いたしました。

朝から冷たい雨の降るあいにくの天候でしたが、例年と変わらない 125 名の方に参加いただきました。新型コロナ感染状況がだいぶ落ち着いてきてはありましたが、懇親会などは一切行わず、午前中のスコアのみで順位を決めて、午後のプレー終了後に賞品を受け取ってお帰りいただく形式での開催となりました。

午後には雨が上がり、2 年ぶりにしてはまずまずの運営ができたことに感謝です。



経費を差し引いた約 70 万円のご寄付につきましては、つくば市、土浦市、牛久市の社会福祉協議会に寄付をしたうえで残額を茨城 YMCA の障がい児向けプログラムの活動資金に充てさせていただきます。

ご参加いただきました皆さまとスタッフの皆様

さまに、改めて感謝を申し上げます。

(書記 村田)

【みどりのみらい募金】

茨城 YMCA が今年取得した「みどりの新センター」の修繕資金について、金沢八景ワイズメンズクラブと神戸ワイズメンズクラブより募金をいただきました。茨城ワイズメンズクラブからも、改めて御礼を申し上げます。



いま、みどりの新センターでは、広大な芝生フィールドの新設整備に引き続き、筑波大生のボランティアによるピザ窯の建造などが始まっております。

みどりの新センターの整備につきましては、ブリテンでも逐次報告してまいります。

(書記 村田)

## 【茨城 YMCA 報告】

## 10 月の報告

- 1日 チャリティーラン実行委員会
- 2日 みどりの本館整備ワーク
- 3日 フードパントリー@みどりの本館
- 4日 早天祈祷会
- 4日 じゃがいもかぼちゃ到着
- 5日 牛久センター職員礼拝/職員会
- 5日 中期計画小委員会
- 6日 主任会
- 8日 チャリティーラン実行委員会
- 9日 リソースモビリゼーションチームミーティング
- 9-10日  
夏のオーバーナイトキャンプ
- 11日 チャリティーバザー委員会
- 12日 美浦村児童館指定管理者プレゼンテーション
- 13日 チャリティーゴルフ
- 14日 職員礼拝/職員会
- 15日 国際 MTG
- 15日 牛久センターワーク
- 15日 中期計画小委員会
- 15日 野外担当者会
- 18日 チャリティーラン実行委員会
- 19日 HP 制作チームミーティング
- 19日 TCU 包括的連携協定調印式
- 20日 幼保オリーブ運動会
- 20日 青い羽根学習会連絡会議
- 21日 みどりの本館整備
- 22日 牛久センター整備
- 22日 中期計画小委員会
- 23日 理事会@みどりの本館
- 23日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」
- 23日 牛久センターピアノ発表会
- 25日 赤い羽根テーマ型募金連絡会議
- 25-28日  
健康診断
- 28日 リソースモビリゼーションチームミーティング
- 29日 チャリティーバザー委員会
- 30日 チャリティーバザー
- 30日 障がい児者自立支援事業「たんぽぽクラブ」

## 11 月の予定

- 1日 早天祈祷会
- 5日 幼保オリーブお芋ほり
- 6日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 8日 主任会
- 9日 チャリティーラン実行委員会
- 10日 国際 MTG
- 17日 職員礼拝/職員会
- 18日 牛久オリーブ健康診断
- 20日 チャリティーラン@みどりの本館
- 20日 障がい児者自立支援事業「たんぽぽクラブ」
- 20日 フットサル観戦プログラム
- 22日 HP 制作チームミーティング
- 22日 幼保オリーブ交通安全教室
- 23日 野外応急処置トレーニング
- 25日 幼保オリーブ健康診断
- 27日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」
- 27-28日  
ユースキャンプ@みどりの本館  
(連絡主事 大澤)

## 【編集後記】

今年もあっという間に11月になりました。幸いなことに、Covid-19の感染状況が落ち着いています。まだまだマスクを手放すことは難しそうですが、少しほっとした年末年始が迎えられるかもしれませんね。

わたくしですが、この夏より本業の仕事でもお客さまあてにメルマガを発信することになりました。茨城クラブで書記としてブリテンの発行をし続けてもうすぐ5年半になります。子どもの頃は、新聞記者になりたくて小学校でも手書きの新聞を発行してクラスで配ってもらってました。いまは全然別の仕事をしてますが、もの書きができる場面がたびたび与えられるのは、なにかの運命かもしれませんね。



出張に行ける状況になってきましたので、しばらくぶりにご当地B級グルメ再開です！まずは名古屋のあんかけスパから。

(書記 村田)

ときどきグループサイクリングの引率をしています。「いばらきサイクリング協会」のイベント、茨城県スポーツ推進課依頼のイベント、知人に「行こうよ」メールしたのもあります。

先日、中学1年生のサイクリングの引率を受けました。大人の引率はこれまで何度もやりましたが、子どもたちの引率は今回が初めてでした。

主催者からスタート前に参加者の名前と身長を書かれた名簿を渡されました(名簿は終了後に回収)。それを見ながらレンタルバイクのおおよそのサイズを確認し、担当するグループの人数分のバイクを確保しました(スモールサイズのバイクが少なく取り合いでした)。それがやっと終わったとたん休む間もなく、子どもたちがバスで到着、子どもたちの名前を確認して、それぞれの

バイクを「今日の君のバイクだよ」と渡しました。

しかし、そこからがさらに大変でした。サドルの高さを彼らの身体にひとりひとり合わせてやらなければなりません。ヘルメットのあご紐を適正にしてあげなければなりません。そして、ブレーキのかけ方と停止の仕方(疲れにくいサドル高さにすると、サドルから前に降りないと足を地面につけられない)、変速レバーの使い方、ガイドの出すハンドサインの確認、その日の天候気温の予想による服装のチェック・・・やれやれ、そんなこんなで主催者が設定したスタート時刻を軽く1時間もオーバーしてしまいました(それでも、それをせかさずに待ってくれた主催者には感謝でした)。

前日は強風、翌日は雨でした。運の強い私たち茨城県認定サイクリングサポートライダーは、事故なく落車させることもなく約150名の子どもたち全員を無事にゴールまで届けることができました。

「おれ、いつかぜったいロードバイク買う」と言ってくれた少年、引率のオジサン(私)は、その言葉がいちばん嬉しかったよ。



(会長 熊谷)